

階堆瑞雪図

光緒一五年（一八八九）五七歳 絹本設色
本紙一三〇・五cm×三三・一cm



階堆瑞雪 大育年豊

己丑年夏之初清 錢慧安仿白陽山人本

〈款記釈文〉

階堆瑞雪大有年豊

己丑年夏之初清 錢慧安仿白陽山人本



「吉生」
(朱文) 1.7 × 1.0

子どもたちが雪像を作っているのを見守る母を描く。瑞雪とは季節通りに時宜を得た雪の意。雪はその間に害虫を殺し、豊作が得られるという。子どもたちが作る雪だるまは羅漢像で、「雪羅漢」と呼ばれる。雪の表現には、中国水墨画の伝統的技法が見られよう。錢慧安は一時、天津楊柳青に行つて年画制作に関わつたと伝えられる。本作品の画題は、楊柳青年画の代表的なものである。

